

令和元年度 西都市立妻中学校 自己評価及び外部評価書

評価段階	4 期待以上である (80%以上)	3 ほぼ期待どおりである (50%以上80%未満)	2 ほぼ期待どおりである (20%以上50%未満)	1 改善を要する (20%未満)
-------------	------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------

評価指標	実践項目	自己評価	学校の評価コメント及び改善策等	外部評価	外部評価コメント
1 学力の向上	① 授業時数の確保と指導の充実	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校時程を工夫して、授業をカットしなくても集会や会議を行うことができるようにした。 ● 授業時数の確保のため清掃や、職員朝会をカットすることがあった。 ○ 昼休みと放課後に、多目的室、数学少人数教室を開放して、無言で学習する生徒のみ入室を許可したところ、集中して学習に取り組む姿が見られた。 ○ 昼休みに勉強をしている生徒がいるので静かに過ごすように学年委員会が取り組んでいる。 ○ グループやペアで意見を出し合う場は増えている。 ● 授業中全体的によいが、一部注意しても私語がなくなる。集中力があると良い。 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中間テストを実施しないということについては、評価の方法を工夫して欲しい。 ○ 生徒の個性、個人差を理解していただき一人一人に向き合って教育していただきたい。
	② 教え合い助け合う場の設定	3.5			
2 生徒指導の充実	① 自治的な生徒会活動の推進	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒会との連携で、委員会が活性化した。 ○ あいさつは全体的によくってきた。廊下で会っても繰り返しあいさつができる。 ○ 教科担任の先生方のきめ細かい指導や配慮のおかげで、落ち着いて学習ができています。 ○ 朝や休み時間、昼休みの時間に教員が見守っているため、大きなトラブルになることがなくなってきた。 ● 学級内での人間関係トラブルが減ってきた学級と多くなった学級があった。 ● 友だちに対する嫌な言動(陰で)があった。 ○ 学級担任の先生を中心に、家庭と連絡を取り、不登校生徒を迎えに行ったり、家庭訪問をしたりした。 ○ SSWと連携を図り、情報を共有して対応に当たっている。 ○ 体育大会や文化祭など生徒が中心になってよく頑張った。 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ スマートフォンの扱いが心配である。ゲームのやり過ぎによる脳への悪影響もあると聞く。学校として制限してはどうか。 ○ 人間関係のトラブルは必ずあるので、対応の難しさは理解できるが粘り強く解決に向けて頑張っていたきたい。
	② 個に応じた支援の充実	3.3			
3 健康体力の増進	① 心身の健康課題への対応	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 給食では多少の残食が出ることはあるが、一人一人の食べる量は増えてきた。全体的に給食の残食は少ない。 ○ 感染症の流行もなく、元気に過ごしている ○ 部活動生集会を行ったり、キャプテン会を充実させたり、部活動の活性化を図った。 ● 教育相談アンケート等をもとに相談にのったが、人間関係に悩み部活動を辞める生徒が出た。 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国大会出場等部活動が盛んである。しかし、部活動が楽しいと感じている生徒の数が目標に達しなかったことから部活動の在り方について考える必要がある。
	② 部活動の活性化	3.2			
4 地域・家庭との連携	PTAとの連携の充実	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育大会、文化祭などPTA役員と協力ができた。 ○ 学級通信を定期的に出すことができた。 ○ 保護者との連絡を密にとることができた。(昼夜、休日を問わず対応した) ● 学級通信の返事が来ない。 ● 参観日の出席、欠席の家庭が固定化している。 ○ みつばルームとの連携をすすめている。 ○ 発達支援センターやスクールサポーターとの連携をすすめている。 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ PTA活動に無関心な人、また、学校に対して過度に反応するといったことも過去にあった。粘り強く対応していくしかないのではないかと。
	関係機関との連携の推進	3.3			